

安田鞆彦《かちかち山》(部分)1910年 株式会社ヤマタネ蔵

線の 美

日本画における線の魅力

2020.7.11^{SAT} - 9.6^{SUN}



開館時間／午前10時～午後6時、金曜日のみ午後8時まで(入館は閉館30分前まで)
休館日／月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館) *会期中の休館日:7/13・20・27、8/3・11・17・24・31
観覧料／一般500(400)円・大高生300(250)円 * ()内は、20名以上の団体割引料金 *身体障害者手帳、
療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料
主催／高崎市タワー美術館 〒370-0841 群馬県高崎市栄町3-23 TEL 027-330-3773 FAX 027-321-7277
助成／一般財団法人 自治総合センター
後援／高崎市教育委員会、朝日新聞社前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋
支局、読売新聞前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、J:COM群馬、FM GUNMA

高崎市タワー美術館
TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART

線の美

日本画の特徴のひとつに、表現に線描を用いることが挙げられます。しかし、その線は単に物をかたどる境界線ではなく、対象物の質感や温もりをも表わすもので、日本画家にとって線の習熟は画家への第一歩でした。また、線描には作家の個性が表われやすく、上村松園・小林古径・安田靉彦のように、固有の線を持つ画家も少なくありません。

本展覧会では、日本画の線描に焦点を当て、さまざまな種類の線描や技法を紹介するとともに、同じモチーフで線を廃した「没線描法」による作品と比較展示するなど、日本画における線の力と意味、その魅力に迫ります。



①



②



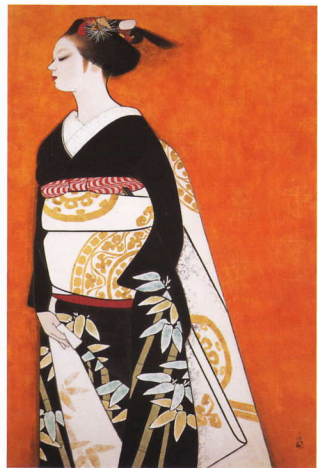
③



④



⑤



⑥



交通案内/JR高崎駅東口より徒歩2分
 駐車場/上記6か所の駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと、1時間の無料駐車券をお渡しいたします。



⑦



⑧

高崎市タワー美術館
 TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART
 群馬県高崎市栄町3-23 TEL 027-330-3773

- ① 上村松園《かんざし》1938年頃 水野美術館蔵 展示期間7/11~8/10
- ② 小林古径《冠》1921年頃 当館寄託
- ③ 木村武山《孔雀》1917年 群馬県立近代美術館蔵 展示期間8/12~9/6
- ④ 結城素明《歌神》1916年 株式会社ヤマタネ蔵
- ⑤ 吉川霊華《不盡神霊》1927年 当館寄託
- ⑥ 広田多津《立像》1975年 佐久市立近代美術館蔵
- ⑦ 土田麦穂《甜瓜図》1931年 埼玉県立近代美術館蔵 展示期間8/12~9/6
- ⑧ 安田靉彦《かちかち山》1910年 株式会社ヤマタネ蔵

高崎市美術館展覧会のお知らせ
 企画展「FLOWER」
 会期：2020年7月 4日(土)
 ~8月30日(日)
 お問合せ：TEL 027-324-6125